

若年者調査（D）素案

「京都市民長寿すこやかプラン」見直しのための
高齢期の生活と健康に関する意識調査のご協力のお願い

このたび、京都市では「高齢期の生活と健康に関する意識調査」を実施することになりました。

この調査は、高齢者の方々が健康で安心して暮らすことができる長寿社会の実現に向けて、「京都市民長寿すこやかプラン」（京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画）を見直すための基礎資料として利用するとともに、今後の高齢者保健福祉施策を進めるうえで参考とさせていただくために行うものです。

対象となられる方は、市内にお住まいの40歳以上65歳未満の方（平成19年●月●日現在）の中から、無作為に選んだ3,000人の皆様です。

この調査は、介護保険制度では「第2号被保険者」に該当する皆様に、いずれ迎える高齢期において必要となるであろう介護や福祉サービスなど、地域で健やかに生活していくために必要な施策に対する意向をおたずねするものです。

お答えいただいた内容は、統計の目的のみに利用し、皆様には不利益のないよう秘密の保持には万全を期しております。

時節柄、何かとお忙しいところお手数ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成19年●月

京 都 市

■ ご返送いただく期日

ご記入後、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま、

平成19年●月●日（●）までにご返送くださいますようお願いいたします。

（切手は不要です。）

■ 調査に関するお問い合わせおよび送付先

京都市保健福祉局長寿社会部長寿福祉課（担当：●●、●●）

電話：（075）251-1106

■ ご記入上のお願い

1. この調査票は、原則として、宛名のご本人がお答えください。健康状態などにより、ご本人によるお答えができない場合のみ、ご本人の状況がわかるご家族の方が、ご本人の意思を確認しながらご記入いただくか、ご本人の立場に立ってご記入ください。
2. 質問文中の「あなた」とは、宛名のご本人のことを指しています。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
4. この調査票の回答は、あてはまるものに○をつけていただくものがほとんどです。質問により、1つのみ回答していただくものと、複数回答していただくものがありますので、質問に従ってお答えください。

<記入例>

☒ 1 はい 2 いいえ (どちらかに○) ← 「はい」と回答する場合

「京都市民長寿すこやかプラン」(京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画)とは

本市では、高齢者施策を総合的に推進するため、平成18年3月に「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を一体的に見直すとともに両計画の総称を「第3期京都市民長寿すこやかプラン」としています。

高齢者保健福祉計画は、要介護者への介護サービスの提供のほか、寝たきり、認知症等の予防のためのサービスの提供、ひとり暮らしの高齢者への生活支援、元気な高齢者への健康づくりやいきがいくくりも含め、地域における高齢者を対象とした保健サービスや福祉サービス全般にわたる供給体制づくりなどについて定めたものです。

介護保険事業計画は、地域における介護サービスの必要量を見込み、それを確保するための方策や介護保険料算定の基礎となる財政規模のほか、介護保険を円滑に運営するために必要な事業などについて定めたものです。

※ プランの計画期間は、平成18年度から20年度までの3年間ですが、平成20年度に見直すことになっています。

■ このアンケートにお答えいただくのは、どなたですか。（○は1つ）

- 1 宛名のご本人
- 2 ご家族（ご本人との続柄： ）
- 3 その他（具体的に： ）

■ ご本人がアンケートに回答できない理由をお答えください。(〇は1つ)

- 1 病院に入院中
- 2 病気やけが
- 3 障害（身体障害、知的障害など）
- 4 別居・転居
- 5 答えたくない
- 6 その他（具体的に：

問1 あなた（宛名のご本人：以下の問も同じ）の年齢は。（○は1つ）

- | | | | |
|---|---------|---|---------|
| 1 | 40~44 歳 | 4 | 55~59 歳 |
| 2 | 45~49 歳 | 5 | 60~64 歳 |
| 3 | 50~54 歳 | | |

問2 あなたの性別は。(どちらかに○)

- 1 男性 2 女性

問3 あなたがお住まいの地区は。(○は1つ)

- | | |
|-------|---------|
| 1 北区 | 8 南区 |
| 2 上京区 | 9 右京区 |
| 3 左京区 | 10 西京区 |
| 4 中京区 | 11 洛西支所 |
| 5 東山区 | 12 伏見区 |
| 6 山科区 | 13 深草支所 |
| 7 下京区 | 14 醍醐支所 |

問3-2 あなたがお住まいの地域は、次のどれに最もよくあてはまりますか。

(○は1つ)

- 1 京町家など昔のまちなみが残る住宅街
- 2 比較的大きな家が立ち並ぶ閑静な住宅街
- 3 昭和40年代以降の開発によって造られたニュータウン
- 4 商店街や企業などが多くある商業地域
- 5 比較的工場が多くある工業中心の地域
- 6 田畑が広がる農業地域
- 7 人口が少なく、交通の不便な山間・過疎地域
- 8 その他(具体的に:)

問4 あなた現在の住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1 持家(一戸建て) | 5 公営住宅 |
| 2 持家(分譲マンション) | 6 社宅・官舎 |
| 3 民間賃貸住宅(一戸建て) | 7 間借り・住み込み |
| 4 民間賃貸住宅
(マンション・アパートなど) | 8 その他
(具体的に:) |

問4-2 お住まいの状況についておたずねします。(あてはまるものすべてに○)

- 1 住宅が狭い
- 2 住宅が古くなったりいたんだりしている
- 3 家の中の階段が急である／手すりがついていない
- 4 共用部分の階段が急である／手すりがついていない
- 5 エレベーターが設置されていない(2階以上にお住まいの方)
- 6 家の中に大きな段差がある
- 7 立ち退きを迫られている
- 8 その他(具体的に:)
- 9 特に問題はない

問5 あなたの年間総収入(年金なども含め、税込みで)はどれぐらいですか。

(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1 50万円未満 | 6 400万円台 |
| 2 50万円以上100万円未満 | 7 500万円台 |
| 3 100万円台 | 8 600万円台 |
| 4 200万円台 | 9 700万円以上 |
| 5 300万円台 | |

問6 ご家族の状況について、お答えください。(○は1つ)

※ この問では、ご本人の配偶者の方も、「あなた」に含めてお答えください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 ひとり暮らし | 5 あなたと子供(二世帯同居) |
| 2 夫婦のみ | 6 あなたと子供と孫(三世帯同居) |
| 3 兄弟姉妹のみ | 7 あなたと親と子供(三世帯同居) |
| 4 あなたと親(二世帯同居) | 8 その他(具体的に:) |

問7 この半年ぐらいの間で、心身の状態に変化がありましたか。(1)～(11)のそれぞれについて、どのように変化したかを1つずつお答えください。

※ 選択肢の中には、あなたの状態にそぐわないものもあるかもしれませんが、調査結果の分析上必要なため、介護保険サービスを利用されている高齢者の方と共通した質問内容となっていますのでご了承ください。

(1) 外出の回数についてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 変化なし
(2) 人としゃべることについてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 変化なし
(3) 寝つきや眠りの深さについてはどうですか	1 よくなった	2 悪くなった	3 変化なし
(4) 体重の増減についてはどうですか	1 増えた	2 減った	3 変化なし
(5) 活動意欲についてはどうですか	1 意欲が出てきた	2 意欲が低下した	3 変化なし
(6) 身の回りのこと(片付けなど)についてはどうですか	1 一人でできるようになった	2 一人でできなくなった	3 以前からできる又は変化なし
(7) 歩くことについてはどうですか	1 一人でできるようになった	2 一人でできなくなった	3 以前からできる又は変化なし
(8) 起き上がることについてはどうですか	1 一人でできるようになった	2 一人でできなくなった	3 以前からできる又は変化なし
(9) 最近の出来事を思い出せないことについてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 以前からない又は変化なし
(10) 食べ物を噛むことについてはどうですか	1 うまく噛めなくなった	2 うまく噛めるようになった	3 以前から噛める又は変化なし
(11) 不意に尿がもれることについてはどうですか	1 多くなった	2 少なくなった	3 以前からない又は変化なし

問8 あなたの日ごろの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 とても健康だと思う | 4 健康ではないと思う |
| 2 まあ健康だと思う | 5 どちらとも言えない |
| 3 あまり健康ではないと思う | |

問9 ふだんの生活のご様子についておたずねします。(1)～(13)のそれぞれについて、「1 はい」「2 いいえ」のどちらか1つをお答えください。

(1) バスや電車を使って、ひとりで外出ができますか	1 はい	2 いいえ
(2) 日用品の買い物ができますか	1 はい	2 いいえ
(3) 自分で食事の用意ができますか	1 はい	2 いいえ
(4) 請求書の支払いができますか	1 はい	2 いいえ
(5) 銀行預金・郵便貯金の出し入れができますか	1 はい	2 いいえ
(6) 税金関係の申請書などの書類が書けますか	1 はい	2 いいえ
(7) 新聞を読んでいますか	1 はい	2 いいえ
(8) 本や雑誌を読んでいますか	1 はい	2 いいえ
(9) 健康についての記事や番組に関心がありますか	1 はい	2 いいえ
(10) 友人の家を訪ねることがありますか	1 はい	2 いいえ
(11) 家族や友人の相談にのることがありますか	1 はい	2 いいえ
(12) 病人を見舞うことができますか	1 はい	2 いいえ
(13) 若い人に自分から話しかけることがありますか	1 はい	2 いいえ

問 10 この1年間（平成 18 年 12 月～平成 19 年 11 月まで）に入院したことがありますか。（どちらかに○）

1 ある（現在、入院中も含む）

2 ない

問 11 現在治療（投薬を含む）を受けている病気はありますか。（あてはまるものすべてに○）

1 高血圧症

11 糖尿病

2 高脂血症

12 腰痛、膝痛などの病気

3 心臓病（心筋梗塞、狭心症など）

13 眼の病気

4 脳血管疾患（脳梗塞、脳出血など）

14 耳、鼻の病気

5 呼吸器系疾患（喘息、肺炎など）

15 精神疾患

6 結核

16 歯の病気

7 消化器系疾患

17 その他

8 泌尿器系疾患

（具体的に： ）

9 腎臓病

18 特にない

10 肝臓病

問 12 あなたは、この1年間（平成 18 年 12 月～平成 19 年 11 月まで）に転んでケガをしたことがありますか。（○は1つ）

1 ある

2 ない

3 該当しない（寝たきり等のため）

※副問（転んだ場所）削除

問 13 あなたは酒、ビールなどのアルコールを飲みますか。（○は1つ）

1 ほとんど毎日飲む

4 たまに飲む（つきあい程度）

2 週3～5日は飲む

5 飲まない

3 週1～2日は飲む

問 14 あなたは、たばこを吸いますか。（○は1つ）

「1 吸っている」と答えられた方は1日の本数もお答えください。

1 吸っている

2 以前は吸っていたが今はやめた

↳ [1日に約（ ）本]

3 吸ったことがない

問 15 あなたは現在、収入になる仕事をしていますか。（どちらかに○）

1 仕事をしている

2 仕事をしていない

副問 【「1」に○をつけた方におたずねします。】現在のお仕事をお答えください。
（○は1つ）

1 商工自営業主

5 常勤の勤め人

2 農林水産業自営業主

6 臨時・日雇い・パート

3 家族従業

7 内職

4 会社・団体の役員

8 その他（具体的に： ）

問 16 あなたは、隣近所の人とどの程度お付き合いをしていますか。（○は1つ）

1 困った時に助け合う

3 顔を合わせばあいさつする程度

2 世間話や立ち話をする程度

4 付き合いをしていない

問 17 あなたは、大規模な火事や地震などの災害時に、避難が必要となった場合、誰に援助を求めますか。（あてはまるものすべてに○）

1 ひとりで避難できる

2 一緒に住んでいる家族

3 その他の家族・親戚

4 友人

5 隣近所の人

6 地域の自主防災組織

7 民生委員や老人福祉員

8 かかりつけの医師

9 福祉事務所の職員

10 その他（具体的に： ）

11 援助してくれる人がいない

問 18 あなたが、急病などにより入院しなければならない場合、どうしますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 できるだけ隣近所に手助けを求める
- 2 民生委員や老人福祉員、町内会の役員に対応してもらう
- 3 家族や親せきに連絡して対応してもらう
- 4 区役所に連絡して対応してもらう
- 5 かかりつけの医師に連絡して対応してもらう
- 6 消防（救急）や警察に連絡して対応してもらう
- 7 付き合いが少ないので、連絡する人がいない
- 8 その他（具体的に： _____）

問 19 日常的に連絡がとれ、困ったことや不安なことを相談できる相手はどのような方ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 家族・親類
- 2 隣近所の人
- 3 知人・友人
- 4 民生委員や老人福祉員
- 5 かかりつけの医師
- 6 ケアマネジャー（介護支援専門員）
- 7 地域包括支援センターの職員
- 8 京都市長寿すこやかセンターの職員
- 9 福祉事務所の職員
- 10 社会福祉協議会の職員
- 11 その他（具体的に： _____）
- 12 特にいない

問 20 あなたは、あなたの地域の町内会長（自治会長）の名前及び顔を両方とも知っていますか。（○は1つ）

- 1 両方とも知っている
- 2 名前又は顔だけ知っている
- 3 まったく知らない

問 21 あなたは、あなたの地域の民生委員の名前及び顔を両方とも知っていますか。（○は1つ）

- 1 両方とも知っている
- 2 名前又は顔だけ知っている
- 3 まったく知らない

問 22 あなたは、あなたの地域の老人福祉員の名前及び顔を両方とも知っていますか。
(○は1つ)

- 1 両方とも知っている
- 2 名前又は顔だけ知っている
- 3 まったく知らない

問 23 あなたは現在、どのような活動に生きがいを感じますか。次の中からあてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 趣味や娯楽のサークル活動 | 6 若い世代との交流 |
| 2 学習や教養などを身につける活動 | 7 旅行 |
| 3 健康づくりやスポーツ活動 | 8 その他(具体的に:) |
| 4 地域の団体や行事への参加 | 9 特にない |
| 5 社会奉仕活動 | |

※旧問 18(運動やスポーツの取組み状況) 削除

問 24 あなたはふだん、仕事、買い物、散歩、通院、趣味活動などでどのくらい外出していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-------------|
| 1 毎日 | 4 週に1～2日 |
| 2 週に5～6日 | 5 月に1～3日 |
| 3 週に3～4日 | 6 ほとんど外出しない |

※副問(外出を控える理由) 削除

※旧問 24(モラル・スケール) 削除

問 25 あなたは日ごろ、ご自分の心身の変化(足腰のおとろえ、気力がわかず何もしなくなるなど)に気を配り、早目に改善しておられますか。(○は1つ)

- 1 日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる
- 2 気をつけてはいるが、適切に対応できているかわからない
- 3 あまり気をつけていない
- 4 まったく気をつけていない

問 26 介護が必要でない状態を継続するために、あるいは介護が必要となってもこれ以上悪化させないためには、糖尿病や脳卒中、心臓病などの生活習慣病予防のほか、高齢期特有の老化の予防が必要です。老化の予防には、足などの筋力をつけること、低栄養にならないよう栄養改善をすること、尿失禁予防、認知症にならないための予防などがあります。

このことについて、あなたはご存知でしたか。（○は1つ）

- 1 よく知っている
- 2 ある程度は知っている
- 3 聞いたことはある
- 4 まったく知らない

問 27 あなたは日ごろ、病気の予防や健康づくり、老化の予防に関する情報や助言を主にどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 配偶者
- 2 子ども
- 3 孫
- 4 その他の家族
- 5 健康づくりのグループなどの仲間
- 6 地域包括支援センター
- 7 京都市長寿すこやかセンター
- 8 医師・看護師
- 9 薬局
- 10 保健所
- 11 福祉事務所
- 12 新聞・テレビ
- 13 書籍・雑誌
- 14 その他（具体的に： _____）
- 15 特にない

※旧問 24（病気の予防や健康づくり、老化の予防のための取組み）は新問 27 に統合

問 28 あなたは、下記の病気の予防や健康づくり、老化予防のための取組みについて、現在あるいは今後どのように考えていますか。（１）～（１４）のそれぞれについて、１つずつお答えください。

	現 在 行 っ て いる	今 後 ぜ ひ 行 い た い	機 会 が あ れ ば 行 い た い	特 に 考 え て い な い
(1) 早寝・早起きなど規則正しい生活を送る	1	2	3	4
(2) ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする	1	2	3	4
(3) 読み書きや計算など、ふだんから頭をよく使うようにする	1	2	3	4
(4) 肥満や栄養不足などにならないよう、栄養バランスを考えた食事をする	1	2	3	4
(5) バランスのとれた食生活、栄養改善などに関する相談や地域の教室に参加する	1	2	3	4
(6) 食べることなどお口の機能低下の予防に関する相談や地域での教室に参加する	1	2	3	4
(7) 転倒や骨折予防のための筋力向上をめざした地域での教室に参加する	1	2	3	4
(8) 定期的に健康診断を受診する	1	2	3	4
(9) 歯磨きを毎日おこなう	1	2	3	4
(10) 定期的に歯科検診を受診する	1	2	3	4
(11) 高齢者が集まって仲間作りや交流する場に参加する	1	2	3	4
(12) 若い世代や子どもなどと交流する場に参加する	1	2	3	4
(13) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する	1	2	3	4
(14) 地域の行事やボランティア活動など社会参加活動をする	1	2	3	4
(15) 収入を得る仕事をする	1	2	3	4

問 29 もし、あなたが介護や支援などが必要となった場合、どのような暮らし方を希望しますか。(○は1つ)

1 主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい

2 主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい

3 老人保健施設(※1)に入所したい

4 療養病床(※2)などに入院したい

5 特別養護老人ホーム(※3)に入所したい

6 グループホーム(※4)に入所したい

7 養護老人ホーム(※5)に入所したい

8 ケアハウス(※6)に入所したい

9 有料老人ホーム(※7)に入所したい

10 その他(具体的に:

)

11 わからない

【「1」に○をつけた方におたずねします。】

副問 あなたは、自宅で在宅福祉サービスを利用しながら暮らしていく場合、主にどのようなサービスを利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1 ホームヘルプ・デイサービス・ショートステイなどの介護保険サービス

2 配食サービス・緊急通報システム(あんしんネット119)などの高齢者福祉サービス

3 小規模多機能型居宅介護(※8)や夜間対応型訪問介護(※9)など、住み慣れた地域で利用できるサービス

4 その他(具体的に:

)

※1 老人保健施設:医学的管理の下での介護、看護、機能訓練、その他必要な医療などを行い、家庭での生活に戻れるよう支援する施設

※2 療養病床:長期療養が必要な方に、看護、医学的管理下での介護、その他必要な医療などを提供する介護体制が整った施設

※3 特別養護老人ホーム:日常生活で常に介護が必要で、在宅での介護が困難な方に、日常生活の介護、健康管理を行う施設

※4 グループホーム:少人数の認知症の高齢者がそれぞれ個室を持ち、家庭的な雰囲気の中で介護職員の世話を受けながら共同生活する施設

※5 養護老人ホーム:65歳以上の方で、環境上の理由及び経済上の理由で居宅において生活できない場合に入所できる施設

※6 ケアハウス:居宅での生活が困難な60歳以上のひとり暮らしや高齢者夫婦のみ世帯などが入居でき、入浴・食事等の提供を受けながら生活する施設

※7 有料老人ホーム:高齢者を対象とした住宅に、食事などのサービス機能が付いた施設

※8 小規模多機能型居宅介護:通いを中心として、介護の必要な人の状態に応じ、随時訪問や泊まりを組み合わせサービスを提供し、介護度が中重度になっても在宅生活が継続できるよう支援するサービス

※9 夜間対応型訪問介護:24時間安心して在宅で生活できるよう、夜間の定期的な巡回訪問や、利用者からの連絡に応じた随時訪問を組み合わせた訪問介護サービス

問 30 では、どのような支援が身近にあれば、自宅での生活を続けていけると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 毎日の食事の準備・後かたづけや掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること
- 2 入浴やトイレなどを介助してもらえること
- 3 夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること
- 4 自宅の近くで「通い」や「訪問」「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること
- 5 家賃負担が軽減されること
- 6 契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること
- 7 病院まで送り迎えしてもらえること
- 8 自宅に来てくれる医師や看護師がいること
- 9 外出時に介助してくれる人がいること
- 10 住宅を改修するための支援を受けられること
- 11 日中の活動や交流できる場があること
- 12 気軽に相談できる窓口が身近にあること
- 13 自宅にいても必要な情報が得られること
- 14 隣近所の人が互いに声かけや見守りを行うこと
- 15 地域での見回りなど、防犯対策がしっかりしていること
- 16 地域の災害時の対応がしっかりしていること
- 17 悪質商法など高齢者を狙った犯罪の被害から守られること
- 18 その他（具体的に： _____）
- 19 特にない

問 31 介護に必要となる費用の一部（約 19％）は、第 1 号被保険者（65 歳以上）が所得に応じて負担する保険料でまかなうことになっています。現在の所得段階別保険料は次の表にあるとおりですが、この設定方法などについて、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。なお、制度の仕組みとして、低所得層（第 1 段階から第 3 段階）の保険料を軽減すれば、それ以外の方の保険料が増えることになります。（○は 1 つ）

- 1 このままの設定でよい
- 2 このままの設定でよいが、高齢者全体の保険料を一律に少しだけ上げて、その財源で困窮している方の保険料を下げる
- 3 所得段階に応じて細かな設定をし、高所得層の保険料を上げて、その財源で低所得層の保険料を下げる
- 4 その他（具体的に： _____）
- 5 わからない

【参考】京都市における現在の第 1 号被保険者保険料

所得段階区分				介護保険料年額 (月額)	
				設定の考え方	
第1段階	●本人が生活保護を受給している場合 ●本人が老齢福祉年金を受給し、本人及びすべての世帯員が市民税非課税の場合			基準額 ×0.5	28,560 円 (2,380 円)
第2段階	●本人及びすべての世帯員が市民税非課税であって、〔（前年の合計所得金額＋課税年金収入額）≤80 万円／年〕を満たす者			基準額 ×0.5	28,560 円 (2,380 円)
第3段階	●本人及びすべての世帯員が市民税非課税であって、第2段階以外の者			基準額 ×0.75	42,840 円 (3,570 円)
第4段階	●本人が市民税非課税で、世帯員の中に市民税課税者がいる場合			基準額	57,120 円 (4,760 円)
第5段階	●本人が市民税課税者の場合	前年の合計所得金額	125万円以下	基準額 ×1.1	62,832 円 (5,236 円)
第6段階			200万円未満	基準額 ×1.25	71,400 円 (5,950 円)
第7段階			400万円未満	基準額 ×1.5	85,680 円 (7,140 円)
第8段階			700万円未満	基準額 ×1.75	99,960 円 (8,330 円)
第9段階			700万円以上	基準額 ×2.0	114,240 円 (9,520 円)

※印の注釈削除

問 32 介護保険制度では、施設サービスやグループホームなどの居住系サービスの利用者の割合が高いほど、また、利用者1人当たりの利用される介護サービス量が多いほど、介護保険料が高くなります。

今後の保険料のあり方について、あなたのお考えに最も近いのはどれですか。

(○は1つ)

- 1 保険料がある程度高くなっても、施設サービスやグループホームなどの居住系サービスの量をもっと充実させるべき
- 2 施設サービスやグループホームなどの居住系サービスの量を抑えて、保険料を上げない方がよい
- 3 その他（具体的に： _____）
- 4 わからない

【参考】高齢者1人当たりの介護サービスに必要な費用と介護保険料基準額

事業計画運営期間	計画で見込んだ 介護サービスに必要な費用	介護保険料（基準額）
第1期 （平成12年度～14年度）	約208,000円/年	35,496円/年 （2,958円/月）
第2期 （平成15年度～17年度）	約255,700円/年	46,392円/年 （3,866円/月）
第3期 （平成18年度～20年度）	約272,400円/年	57,120円/年 （4,760円/月）

問 33 介護サービスを利用する際には、利用料として1割負担が必要ですが、これについて、あなたの考えに最も近いのは次のうちどれですか。（○は1つ）

- 1 サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である
- 2 1割負担は重いが、やむを得ない
- 3 1割負担は重い
- 4 1割負担は軽い
- 5 その他（具体的に： _____）
- 6 わからない

問 34 高齢化の進展に伴い、認知症の高齢者が増加と言われています。今後、認知症高齢者対策として、どのようなことが特に必要だとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 認知症に関する知識の普及・啓発
- 2 認知症の予防、治療、介護のあり方などに関する知識の普及・啓発
- 3 認知症に関する身近な相談機関の充実
- 4 認知症高齢者を介護する施設や通所サービス事業所等の充実
- 5 認知症を診断できる専門医の充実など医療体制の整備
- 6 認知症高齢者の家族を支援するためのサービスの充実
- 7 成年後見制度の普及・啓発
- 8 認知症高齢者を狙った詐欺や悪徳商法の被害防止
- 9 地震や台風などの自然災害、火事などから安全に避難するための援助体制の確立
- 10 安否確認や見守り活動など近隣住民が協力した地域福祉活動の推進
- 11 その他（具体的に： _____）
- 12 わからない

問 35 あなたは、高齢者虐待の防止のために特に重要な取組みは、次のうちどのようなことだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 虐待防止のための住民への啓発活動
- 2 地域における最も身近な相談窓口である地域包括支援センターの周知
- 3 虐待発見に対する通報の義務化や通報者を保護する体制の整備
- 4 特別養護老人ホームや医療機関等と連携し、虐待を受けた高齢者を円滑に保護するための受け皿の充実
- 5 家族や親族などの養護者及び介護施設従事者に対する支援
- 6 安否確認や見守り活動など近隣住民が協力した地域福祉活動の体制づくり
- 7 その他（具体的に： _____）

※「高齢者虐待」には、暴力的な行為（身体的虐待）だけでなく、暴言や無視、いやがらせ（心理的虐待）や、必要な介護サービスの利用をさせない、世話をしないなどの行為（介護・世話の放棄・放任）、勝手に高齢者の資産を使ってしまうなどの行為（経済的虐待）などが含まれます。

- 1 在宅福祉サービスの充実
- 2 認知症高齢者や一人暮らし高齢者が在宅生活を継続できるよう、住み慣れた地域で利用できるサービスの充実
- 3 施設サービスの充実
- 4 病気の予防や健康づくり、老化の予防の支援
- 5 高齢者が働く場の確保や就職のあっせん
- 6 高齢者が社会参加しやすい働きかけ
- 7 高齢者の学習や文化・スポーツ活動への支援
- 8 高齢者と若い世代の交流の場づくり
- 9 建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり
- 10 高齢者向け住宅の充実
- 11 気軽に利用できる相談窓口の充実
- 12 その他（具体的に：

This is a scan of a completely blank white piece of paper. The paper has rounded corners and is surrounded by a thin black border. There are no markings, text, or illustrations on the surface.

-18-